

池田泉州ホールディングス 決算レポート

業績 *High Light* 第5次中期経営計画の進捗



詳細情報は
コチラ

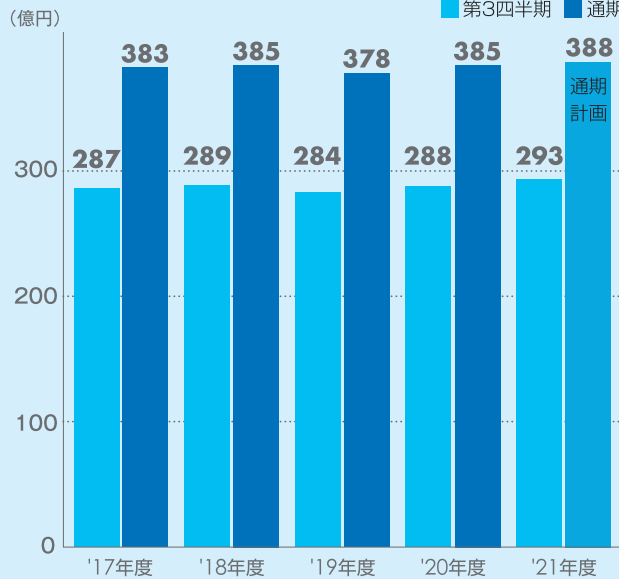
2021年度 第3四半期の純利益は**102億円** (前年同期比+39億円)

預貸金収支 預金と貸出金の利ざやから得られる

預貸金収支は**293億円**

(前年同期比+5億円)

■ 第3四半期 ■ 通期

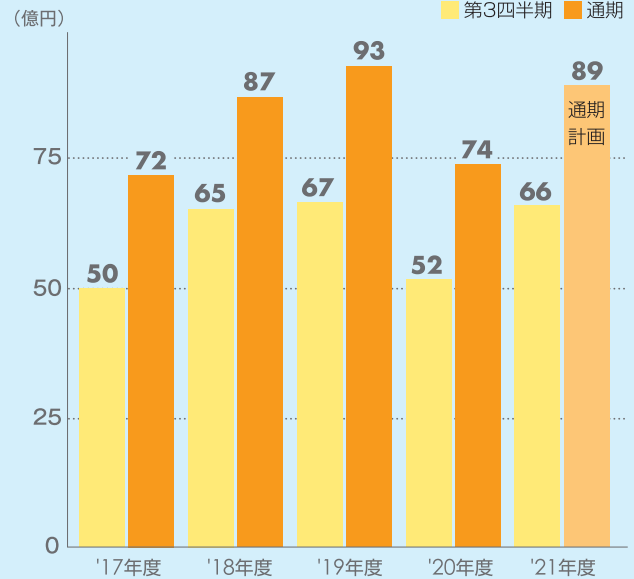


非金利収益 個人・法人の手数料を中心とした

非金利収益は**66億円**

(前年同期比+14億円)

■ 第3四半期 ■ 通期



引き続き、新型コロナウイルスの影響を受けた地元取引先の資金繰り支援に注力しており、中小企業向け貸出の増加ペースは鈍化しているものの、ボリュームは前年同期比増加したこと等もあり、預貸金収支は前年同期比+5億円の293億円となりました。

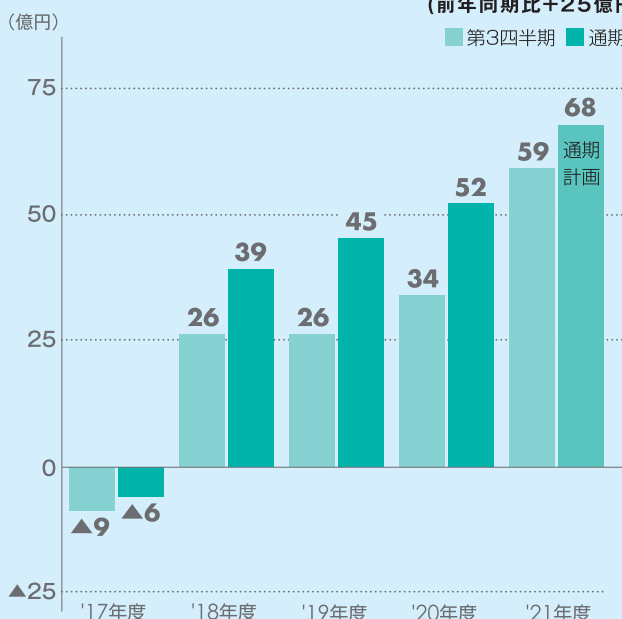
20年度は1回目の緊急事態宣言による営業自粛の影響もあり、非金利収益は減少しましたが、21年度第3四半期は手数料型住宅ローン導入による融資関連手数料の増加等もあり、例年並みの水準を確保し、前年同期比+14億円の66億円となりました。

本業利益*の状況 お客さまとの取引から得られる

本業利益は**59億円**

(前年同期比+25億円)

■ 第3四半期 ■ 通期

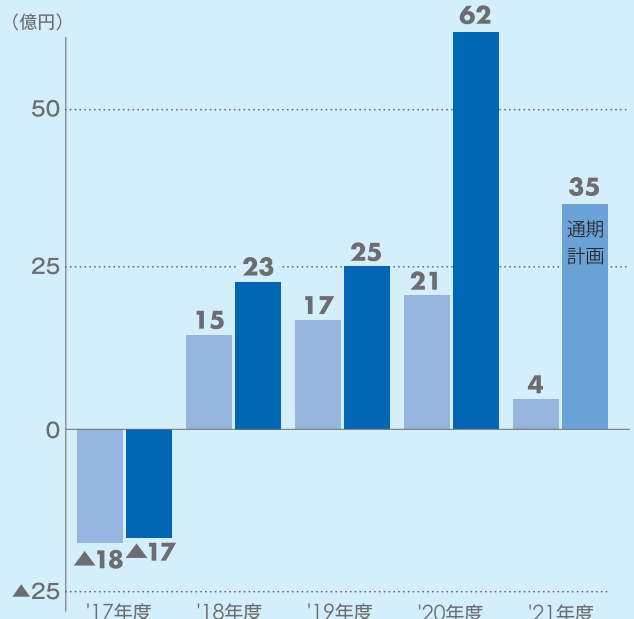


与信費用

与信費用は**4億円**

(前年同期比▲17億円)

■ 第3四半期 ■ 通期



預貸金収支および非金利収益が前年同期比増加したこと等もあり、第3四半期の本業利益は前年同期比+25億円の59億円となりました。

20年度の与信費用は、新型コロナウイルスの影響に鑑みて予防的引当を実施したことから、62億円。

21年度も新型コロナウイルスの影響に鑑み、通期では35億円を計画しておりますが、第3四半期の与信費用は前年同期比▲17億円の4億円となりました。

* 貸出残高×預貸金利回り差+役員取引等利益-営業経費